人口減少に歯止めを！
重点政策を推進していく

鈴木（すずき） 隆司（たかし）議員

町政を問う（一般質問）

人口増強の具体的政策は

鈴木 町の人口が、ついに18,000人を割り込んだ。県南地方屈指の好立地、好環境の中、こうした現況に対しての町長の所感を伺う。また、過去の総合計画の人口目標が未達成に終わっている。（資料参照）町は、どう取り組んだのか？また、未達成に終わった要因は何か？そして、今後の対策は？

町長 本町は平地が多いため開発に適しており、企業等の集積はもちろんですが、太陽光発電など再生可能エネルギーの面でも民間開発が進んでおり、他の地域に比べ優位性があると考えております。計画人口の未達成の主な要因は、優良企業の誘致や地場産業の振興が進まなかったこと、区画整理事業等が計画通り実施できなかったこと、人口の自然減少などが考えられます。今後は、子供を安心して生み育てることができるまち。産業の振興によって働く場があるまちを重点政策として人口増加策をより進めてまいります。

総合計画(計画人口)

総合計画名	計画期間	計画人口数
第一次矢吹町振興計画	昭和48年から昭和60年	30,000人
第二次矢吹町振興計画	昭和51年から昭和60年	20,000人
第三次矢吹町総合振興計画	昭和58年から昭和70年	24,000人
第四次矢吹町振興計画	平成8年から平成17年	24,000人
第五次矢吹町まちづくり総合計画	平成18年から平成27年	19,000人

国や県の復興策行事等に、町はどう係わっていくのか？

鈴木 大震災から3年が経過、今年度県は、「ふくしまの復興」を全国に大々的にアピールしたい考えだ。今年度、県内開催の主な行事は、第98回日本陸上競技選手権、B級グルメ全国大会、男子プロゴルフ公式戦等大規模な行事が目白押しである。町はどう係わり、寄り添って行くのかを伺いたい。

町長 当町においても全国大会規模の大会として近年、ねんりんピックでのゲートボール競技、日本スポーツマスターズのゴルフ競技及び全日本選抜還暦軟式野球大会が開催されました。

今年度、福島県で開催されます全国レクリエーション大会においては、ティーボール競技の開催を目指し、福島県レクリエーション協会と協議を行いましたが、開催することは出来ませんでした。今後、県及び主催団体等とさらなる連携協議を図りながら情報収集し、矢吹町で何が出来るかを検討してまいります。

雇用創出と財政再建、そして町活性化の鍵、企業誘致について

鈴木 震災後、近隣の市町村が次々誘致を実現しているが、当町の現在の企業誘致に関する状況と情報を伺う。

また、第二苗畑跡地が候補に上がっている、県が進めている工場誘致の現在の進捗状況は？

町長 現在、テクノパークにつきましては、4月以降、数社の引き合いがあり、その都度現地案内等を行っておりますが、進出決定には至っていない状況です。

家畜市場跡地についても、現在一社が進出を検討している状況であります。

旧第二苗畑跡地に計画されている県営復興工業団地については、現在、県と町が一体となり、企業立地セミナーへの参加や、個別訪問を行うなど営業活動を展開しておりますが、決定には至っていません。今後は進出意向企業の洗い出しやそれに伴う町独自の手法で誘致活動を実施してまいります。

その他の質問

・西側再開発のためのライフライン整備は